

蔵書紹介 「涼(りょう)」 展示資料一覧

No. 1

展示場所	請求記号	書名	著者名	発行者	発行年月	件名	内容
一段目左	ㄱ/2-569	『音の映像』 (「涼音さまさま」p31-p34)	小幡重一(1888-1947)著	協和書院	1936.2	随筆	物理学者の小幡重一(オバタ, ジュウイチ)(1888-1947)が、音に関する随筆や、研究成果を平易に記した本。
一段目左	ㄱ/2-694	『空点房雑記』 (「山川涼話」p35-p39)	出隆(1892-1980)著	岩波書店	1939.4	随筆	哲学者の出隆(イデ, タカシ)(1892-1980)が書いた随筆集。
一段目左	ㄱ/2-507	『真理を歩む』 (「北窓涼風」p344-p350)	高神覚昇(1894-1948)著	第一書房	1934.11	随筆	真言宗の僧侶で仏教学者の高神覚昇(タカガミ, カクショウ)(1894-1948)が、仏教の教えを実践しながら歩んできた自身の人生を記録した随筆集。
一段目左	ㄱ/2-618	『随筆波立つ雲』 (「新涼、新味」p301-p303)	大森洪太(1887-1946)著	日本評論社	1936.12	随筆	司法官僚であった大森洪太(オオモリ, コウタ)(1887-1946)が書き綴った随筆集。
一段目左	ㄱ/2-625	『明朗雑談』 (「焰の涼味」p148-159)	平尾善保(-1958)著	日本評論社	1937.1	随筆	日本電話建物株式会社(日本電建株式会社に名称変更、2003年9月解散)の創立者である平尾善保(ヒラオ, ヨシヤス)(-1958)の随筆集。
一段目左	ㄱ/2-515	『人情の曲』 (「壺中の涼味」p787-p793)	田中貢太郎(1880-1941)著	教文社	1928.6	随筆	紀行文、人情物、怪談・奇談などの作品を執筆した作家、田中貢太郎(タナカ, コウタロウ)(1880-1941)の作品集。
一段目右		「世界の涼味」(「アサヒグラフ」夏季増刊)	[朝日新聞社支店東京朝日新聞発行所編]	朝日新聞社支店東京朝日新聞発行所	1924.7	雑誌	日本と世界の涼しさを感じる風景写真が157枚、読み物が43点掲載された雑誌「アサヒグラフ」の夏期増刊号。
二段目左	ㄱ/2-802	涼風夜話 別書名:文芸春秋涼風夜話	渋谷清編 序:文芸春秋編集部	青年書房	1937.7	座談会記録	雑誌「文芸春秋」誌上に発表された座談会を1冊にまとめた本。
二段目左	ㄱ/2-147ㄱ	『新手芸の葉』 (「清涼寸話流行と進歩」p50 [社会教育協会編])	大妻コタカ(1884-1970)[著]; [社会教育協会編]	社会教育協会	1937.8	手芸	女性教育の発展に尽力した大妻学院の創設者である大妻コタカ(1884-1970)が衣服や小物などの作り方について述べた本。
二段目左	ㄱ/4-476	涼しい簡単服の作り方 (「主婦之友」第19巻第7号附録)	主婦之友社編	主婦之友社	1935.7	衣服、裁縫	夏向きの女性、子供用の服の作り方を記載。実物大の型紙がついている。
二段目右	ㄱ/4-700ㄱ	名古屋新聞広告集. 第4輯 涼しい写真広告号	名古屋新聞社編	名古屋新聞東京支社	1927.1	商業広告	名古屋新聞東京支社が1927(昭和2)夏に「懸賞涼しい写真広告」を企画した。内容は8月1日から8月31日まで新聞に、企業の「涼しい写真広告」を掲載し、読者による投票を募った。新聞に掲載された広告をまとめたものが本書。
二段目右	ㄱ/1-9	涼味俳味旅の印象	萩原井泉水(1884-1976)[著]	日本書院	1926	紀行	俳人の萩原井泉水(オギワラ, セイセンスイ)(1884-1976)が記した25篇の旅行記。「後記」に「私は風呂から上つてサイダーでも飲みながら話しかけるやうな気持ちで此筆を執つたのである。」と記載があり、題名の「涼味」には著者の心持ちが表れている。
二段目右	ㄱ/2-266	東北西南探涼案内	万朝報探涼軍記者[編]	博文館	1911	紀行	1892(明治25)年11月に、翻訳家で評論家の黒岩涙香(クロイワ, ルイコウ)(1862-1920)が創刊した日刊新聞「万朝報」の記者たちが「探涼軍」を結成し、涼を求めて訪れた地の紀行文を29篇収録。
二段目右	ㄱ/2-746	涼心禅話	加藤咄堂(1870-1949)著	春潮社	1936	禅宗	仏教学者の加藤咄堂(1870-1949)が禅の教えをわかりやすく説いた本。

蔵書紹介 「涼(りょう)」 展示資料一覧

No. 2

展示場所	請求記号	書名	著者名	発行者	発行年月	件名	内容
二段目右	ㄗ12-752	心頭滅却すれば火も亦涼し	新井石禅(1864-1927)著；高橋北堂編	中央出版社	1927	修養	曹洞宗の僧侶であった新井石禅(アライ, セキゼン)(1864-1927)が、心と身体のあるり方について仏教の教えを元に、青年期の男女に提唱した講演をまとめた本。
二段目右	ㄗㄗ3-448	涼風すみ田川展出品目録	[日本出版協会編]	[日本出版協会]	1952. 8序	図書目録	1952年(昭和27)年8月7日～8月17日まで浅草の松屋にて開催された「涼風すみ田川展」に、出品された資料の目録。各機関、個人の出品点数は、上野図書館(現在の国立国会図書館)が154点、早稲田大学図書館が10点、国立博物館が13点、早稲田大学演劇博物館が23点、金石学を専門とした加藤諄(カトウ, ジュン)(1907-2002)が5点である。
三段目左	ㄗ12-250	麦酒及清涼飲料	近藤孝悌, 井上董共著	産業図書	1944. 9	清涼飲料	ビール、清涼飲料の歴史、製造方法について詳細に記載された本。
三段目左	ㄗㄗ3-970ㄗㄗ	茶、煙草、清酒、麦酒、清涼飲料水ニ関スル調査	[鐵道省運輸局編]	鐵道省運輸局	1926. 3	清涼飲料	大正9年から大正13年の鐵道輸送積載量からみた茶、煙草、清酒、ビール、清涼飲料水の消費状況、種類と製法について記載された本。
三段目左	ㄗㄗ3-991ㄗ	大禮記念国産振興東京博覧会審査概評(「第十一類清涼飲料」p8)	[大禮記念國産新興東京博覧會編]	大禮記念国産新興東京博覧會	1928. 5	清涼飲料	昭和天皇の即位の大禮を記念し、1928年3月24日から5月27日まで上野公園で開催された国産品の博覧會に出品された製品の評価をまとめた本。
三段目左	ㄗㄗ3-991	『大禮記念国産振興東京博覧會審査報告』(「第一類清涼飲料」p118-p124 池口慶三(1867-1933), 服部健三(1885-1942)[著])	[大禮記念國産新興東京博覧會編]	大禮記念国産新興東京博覧會	1929. 2	清涼飲料	昭和天皇の即位の大禮を記念し、1928年3月24日から5月27日まで上野公園で開催された国産品の博覧會の報告書。
三段目右	ㄗㄗ3-84ㄗ	家庭新飲料 一名 調合酒 清涼飲劑製法	赤堀峰吉(1885-1956), 小原總雄著	博文館	1912. 8	清涼飲料	季節ごとに適した清涼飲料やカクテルなどの作り方をまとめた本。
三段目右	ㄗㄗ4-450	『日本工業大觀』(「清涼飲料水製造業の概況」p1250-p1255 山本爲三郎(1893-1966), 立木小七郎[著])	工学会編纂	工政会出版部	1925. 12	清涼飲料	工学会は、現在の日本工学会のこと。1925(大正14)年9月に日本と中国との工業提携の目的に、工学会で中華工程師学会會員を日本に招待した紀念に、日本工学の成果を編成した本。